

# 『水の都とやま』 松川の魅力づくり 成功の12則

『水の都とやま』 推進協議会理事長 中村孝一

【1】街づくりとは、自分の住む街をしっかりと見詰め、そこを魅力ある場所に作り替えることです。  
(新) 富山大学  
初代学長 西頭徳三

【2】富山は川が街の中心を成しているユニークな都市。松川を美化することで、世界的観光リゾート地となるでしょう。  
「世界の村おこし町づくり」  
著者 渡邊明次

【3】富山市の新庁舎を設計する際、神通川に浮かぶ帆船をイメージし、デザインに取り入れました。『松川は大切な宝物!』『水の都』の歴史を誇りに、この宝を生かしましょう。  
日本設計  
名誉会長 池田武邦

【4】セーナ川によって生まれたパリのように、富山は神通川によって生まれ、神通川とともに育ってきた街。富山のセーナ川である松川の魅力づくりが、富山の未来を決定するでしょう。  
富山市  
元市長 改井秀雄

【5】松川は、『親水の庭』や『リバー劇場』、松川茶屋の『階段式カフェテラス』など、ヒューマンスケールな設計で心を和ませてくれますね。こういう『ロマンチック』な場所を、上流、下流側へと伸ばし、管理水準もアップしましょう。『やる気』が街を変えます!  
富山河川国道事務所  
所長 久保田勝

【6】富山城の西側のお堀を復元し、南側のお堀と松川をつなぎ、国際会議場の前から遊覧船に乗れるようにし、富山でしか味わえないアフターコンベンションを実現しましょう。  
富山市大手町コンベンション  
元専務 田村孝

【7】街づくりで大事なことは、プランで楽しむ、遊ぶ、という余裕を持つこと。そして、夢を持っている仲間を増やして、長いスタンスでやっていく。ただし、あくまでもボランティア活動なので、仕事に影響が出ないよう気をつけることです。  
富山河川国道事務所  
元所長 内山宏文

【8】松川の魅力の7つのキーワードは、水と緑のオアシスをつくり、みどころを用意し、たてものを美しく、たべものを楽しみ、乗り物を楽しみ、楽しむもよおしを開き、手入れを丁寧に行うことです。  
富山県土木部  
元部長 埴生雅章

【9】富山のセーナ川と呼ばれる松川と、パナマ運河と同じ形式の富岩運河をつなぎ、富山城から富山港への舟運の復活を図りましょう。  
富山県元知事 中沖豊  
富山県土木部元部長 白井芳樹

【10】2003年に開催した「川と街づくり国際フォーラム」を貴重な遺産として、魅力ある『水の都』とやまへの壮大な挑戦が始まりました。「夢の神通回廊」の創造に向けて、粘り強く、松川を愛する仲間を増やしていきましょう。  
『水の都とやま』 推進協議会  
会長 浅岡節夫

【11】松川は全国に例のない都市河川。地下貯留槽も完成し、水質は格段に良くなります。水辺という価値をクローズアップして全国、世界の環境モデル都市を目指しましょう。  
富山市長 森雅志

【12】松川の魅力アップは、『水の都とやま』のシンボルを作るという、100年に一度あるかないかの壮大なプロジェクト。われわれ市民の『意志』が今、試されていると言えます。  
北陸経済研究所  
エグゼクティブフェロー 川田文人